



学校アンケートにご協力頂き、ありがとうございました

平成27年も残すところ1週間となりました。保護者・地域の皆さまには日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。先日はお忙しいなか、「平成27年度学校アンケート」にご協力頂き、誠にありがとうございました。アンケートには153世帯からのご回答、27名の方から具体的なお意見・ご要望・おほめの言葉・励ましの言葉等を頂きました。今回は、頂いたご意見・ご要望のうち、全体に関わる事項について、学校としての考え方や今後の対応についてまとめてご回答いたします。さらにご質問などございましたら、直接学校へご連絡いただければ幸いです。

《小中一貫教育について》

羽村市小中一貫教育基本計画を受け、本校では、平成23年度より隣接型小中一貫教育を始めました。当初は多少の悩み事もございましたが、5年目を迎えかなり軌道に乗ってきております。小中一貫教育の目的は、9年間を通して、「豊かな人間性や社会性の育成をめざす」こと、「学力の向上をめざす」こと、「生徒の個性や能力の一層の伸長をめざす」こと、「中1ギャップを解消する」ことです。一例をあげますと、英語・数学・理科の中学校の教員が小学校へ乗り入れ授業をおこない、小学生の興味・関心を高めたり、小学校の教員が中学校の数学の授業をサポートし学力向上を図っております。また、家庭科では安全を確保するため、中学校の「保育実習」・小学校の「郷土料理学習」で両校の教員でおこなっております。小学生の部活動参加や合同あいさつ運動も順調におこなっております。小学校の教員と中学校の教員が綿密に情報交換することにより、個に応じた指導ができるようになりました。

小中一貫教育について、国の方針が今年出されました。6月に学校教育法等が改正され来年度より施行されます。具体的には、9年間の一貫した教育をおこなうカリキュラムを作成し、教育活動をすすめる「義務教育学校」を設置者（本校では羽村市）は設置することができる、という法律です。この法律改正の背景には、①小学校高学年での専門的指導の充実、児童生徒のつまづきやすい学習への長期的視点に立った決め細かな指導をおこなう、②児童生徒の発達早期化等による、③中学校進学時の不登校、いじめ等の急増など、中1ギャップへの対応をする、④少子化等に伴う学校の社会性育成機能の強化の必要性があるとされています。

また、義務教育9年間の学びを地域ぐるみで支える仕組みとして、学校運営に地域住民や保護者等が参画するコミュニティー・スクールは有効であり、子供たちの豊かな学びと成長を実現できるよう、小中一貫教育も含め、コミュニティー・スクールの推進を図っていく、と文部科学省も説明しています。本校でも平成24年度より学校支援本部を設置させて頂き、地域の皆さまにご協力をお願いしております。

まさに、武蔵野小学校と羽村三中が現在すすめていることです。

《2学期制について》

「受験に不利になるのでは」、「テスト範囲が広がる」などのご意見を頂きました。先日お願いいたしました「小中学校2学期制検証アンケート」のご回答ありがとうございました。羽村市立小中学校2学期制検証委員会におきまして集計をして、市内の結果をホームページ等で公表する予定になっております。委員会の検証の方向性を受け、本校も来年度以降、生徒にとって最大限有効な取組をまいります。

《部活動について》

保護者の皆さまの応援が大きな力となり、一生懸命に取り組む生徒、支援・指導する教職員のがんばりで現在の部活動が実施できています。平成21年度の羽村市学区審議会の答申をうけ、基本的に武蔵野小学校1校からの新入生となりました。本校の入学者数の変遷をみると、昭和60年代は300名弱、平成10年位から150名前後、平成24年位から90名前後、となっています。そのなかで、現在9つの運動部、4つの文化部を開設しております。3学年がそろそろ4月から7月頃であれば、各部ある程度の部員がいるのですが、3年生が引退する夏以降2学年の生徒では、大会出場規定人数に満たないこともあり、存続が厳しいところもあります。保護者・地域の皆さまのご意見を頂きながら今後の方向性を再度検討してまいります。また、入部説明会、部活動保護者会等で共通理解をしなければならないことは、できる限り説明してまいります。生徒・保護者のニーズによって様々な対応が必要な場合もございます。子供たちにとってより良い部活動ができるように取り組んでまいりますのでよろしくお願い致します。

《情報モラルについて》

都内全公立学校の児童・生徒が、いじめ等のトラブルや犯罪に巻き込まれないようにするとともに、学習への悪影響を防ぐため、東京都教育委員会は先月「SNS東京ルール」を策定いたしました。（*SNS…メール、掲示板、無料通話アプリ、ゲーム、画像投稿サービス等）（紙面の都合上、詳しくは東京都教育委員会ホームページをご覧ください。）

その説明会の中で、情報モラル教育スペシャリストであられる桑崎 剛氏の講演がありました。「3年前から急速にスマートフォンが普及してきました。子供にスマートフォンを持たせた以上、その使い方は家庭の責任です。しかし、学校でも予測できないツールを安全に使えるように教育していくことも必要です。自転車の乗り方と同様、安全に使えばとても便利なものでありますが、ひとつ間違えば大変なことになることをしっかり理解させたい。例えば、就職前には会社にエントリーシートを送ります。すると、会社は検索をかけ、どのようなことで表彰されたか、反対にどのようなことを過去にしまったかを確認し採用の一助にしています。また、些細なことはいじめの対象になる事もあります。A君『ディズニールンド行こうよ』→B君『私も行きたい』→A君『なんでくるの』の対話でいじめが発生しました。『なんでくるの』の意味を、『どうやって』ではなく『なぜ』ととらえたからです。」この冬休みにはご家庭のルールの確認をお願いいたします。

《学校アンケート数値について》

裏面のアンケート集計の経年変化におきまして、プラス評価・マイナス評価につきましても様々な角度から丁寧に対応してまいります。全項目プラス評価となるよう、学校全体で取り組んでまいります。今後も子供たちのために、今まで以上研究・研鑽を重ね、実践の中で更なる資質向上を図ってまいります。

平成27年度学校アンケート集計

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:あてはまらない

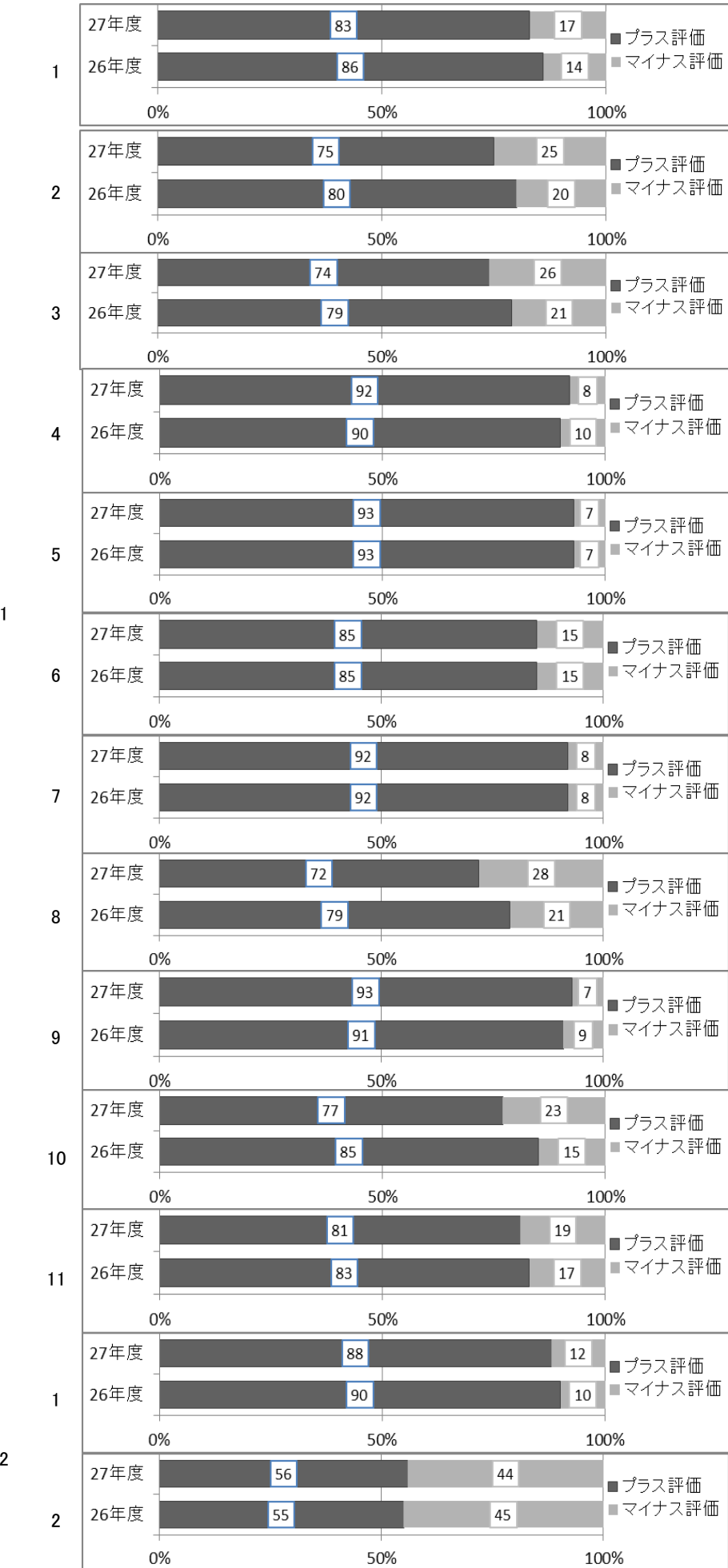
*数字はすべてパーセント表示です。

No	評価項目	27年度					26年度	25年度	24年度	
		4	3	2	1	プラス評価 4+3	マイナス評価 2+1	プラス評価 4+3	プラス評価 4+3	プラス評価 4+3
1	学校は、小中一貫教育を通して、児童・生徒の個性や能力の伸長に向けて小学校と中学校の教育をつなぐ努力をしている。	17	66	12	5	83	17	86	69	54
	学校は、確かな学力を身に付けられるよう努力している。	13	62	20	5	75	25	80	73	77
	教員は、楽しく分かりやすい授業を工夫する努力をしている。	9	65	22	4	74	26	79	68	77
	学校は、地域や児童・生徒の実態を踏まえ、特色ある学校づくりに向けて努力している。	20	72	7	1	92	8	87	87	66
	学校は、交通安全、生活安全、災害安全等、安全にかかわる教育内容の充実を図る努力をしている。	18	75	6	1	93	7	93	87	70
	教員は、自他を大切に心身の育成やきまりについての指導、物事の善悪の指導などを適切に行う努力をしている。	14	71	14	1	85	15	85	91	85
	学校は、個に応じた支援ができるよう多くの人材(特別支援教育支援員、教育相談員、スクールカウンセラー等)を活用し、特別支援教育、教育相談の充実に努めている。	20	72	7	1	92	8	92	90	84
	学校は、子供や保護者の相談に対して親身に対応し、いじめや不登校などへの防止や対応を適切に行う努力をしている。	11	61	21	7	72	28	79	78	74
	学校は、学校の様子を積極的に伝え(学校公開、学校だより、ホームページ等)、教育活動の公開に努めている。	30	63	7	0	93	7	91	92	87
	学校は保護者が子供の教育に役立つように、家庭教育への支援を適切に行う努力をしている。	13	64	20	3	77	23	85	80	70
	学校は体罰等の事故防止に努め、児童・生徒との信頼関係に基づく指導を行う努力をしている。	17	64	18	1	81	19	83	81	
2	子供は、学校に楽しく登校している。	39	49	10	2	88	12	90	91	93
	子供は、家庭学習をする習慣が身に付いている。	17	39	30	14	56	44	55	58	58

お忙しいなかアンケートにご協力いただきありがとうございました。
この結果をこれからの教育活動に活かしてまいります。

アンケート項目の昨年度と本年度の比較

プラス評価(4+3)とマイナス評価(2+1)のグラフ



学校より

9年間を見通して、さらに生徒の個性の伸長と基礎学力をさらに高めていく工夫をいたします。

それぞれの授業において個に応じた指導を工夫していきます。また、早期学習教室の継続と、放課後の補習などを通して、確かな学力を身に付けさせるようにしていきます。

全教員が自らの授業を振り返り、教員相互の研修を深め、授業の工夫・改善を図っていきます。「楽しくわかりやすい」授業づくりに努めています。

体育大会や合唱コンクールなどの学校行事の伝統を引き継ぎ、さらに特色ある学校づくりを行っていきます。

交通安全指導を継続して行うとともに、情報モラル(携帯電話やスマートフォンの安全な使い方)についてもさらに力を入れていきます。

生徒の規範意識を継続して育てるとともに、自ら判断して行動できるよう指導していきます。人権尊重教育推進校の成果をいかしていきます。

一人一人の生徒の「苦手」を支援できるよう、特別支援教室や教育相談室など学校体制で取り組んでいきます。

生徒の状況を常に把握するとともに、さらに相談できる体制づくりを模索していくとともに、いじめや不登校防止などの対応を強めていきます。

学校公開を充実させるとともに、ホームページを毎月更新し、開かれた学校づくりを目指します。

保護者会を工夫させるとともに、家庭学習の支援をさらに充実させます。

体罰等事故防止には「しない させない 許さない」の精神で全校体制で取り組んでいます。これからは信頼関係に基づいた指導を行っていきます。

学校への帰属意識をさらに高めさせ、楽しく通える学校づくりに努めていきます。

こつこつ頑張る家庭学習の大切さを実感させ、武蔵野小学校と連携を図り、学力を向上させていきます。